

KDDI ホスティングサービス (G120, G200)

Joomla! インストールガイド

(ご参考資料)

rev.1.1

KDDI 株式会社

(目次)

1. Joomla!インストールガイド	3
1-1 はじめに.....	3
1-2 制限事項.....	3
1-3 サイト初期設定	4
2. Joomla!のインストール	9
2-1 はじめに.....	9
2-2 データベースの作成.....	9
2-3 Joomla!のインストール	11

1. Joomla!インストールガイド

1-1 はじめに

KDDI ホスティングサービスの G120, G200 では、Joomla!のインストールが可能です。ここではその手動インストール方法をご説明いたします。

1-2 制限事項

- ・ 本サービスでは、Joomla!の機能や操作方法のサポートは行なっておりません。書籍またはインターネットをご参考にしてください。
- ・ 本書は、DNS サーバおよびレコードが設定されていることを前提としております。DNS 切替前のお客さまはセットアップできない場合がございますが、その際は、クライアント PC の hosts ファイルを KDDI ホスティングサービスの IP アドレスに設定してください。(hosts ファイルの操作については、サポートしておりませんので、Microsoft のサイトもしくは書籍等をご参考にしてください。ホスティングサービスの IP アドレスの確認方法は、「セットアップガイド」をご参考にしてください)

1-3 サイト初期設定

Joomla!をご利用になるには、事前にウェブサーバを起動しておく必要があります。ウェブサーバの起動については、コントロールパネルより「ウェブホスティングの追加」を行ないます。

- (1) コントロールパネルにログインし、[ドメイン名] > [ドメイン名の管理] を選択します。表示されているドメインリストの中で、Joomla!をインストールするドメインの「ウェブホスティング」を追加します。

※ 既にウェブホスティングを設定済みの場合は必要ありません。

この欄が空欄の場合は、追加する必要があります。

- (2) (1)にて、[ドメイン名]をクリックして、ウェブホスティングの追加を行ないます。

ホスティングの追加

- (3) ホスティングに「ウェブサイト(Microsoft IIS)」が表示されていることを確認し [次へ] をクリックします。

次へ >>

- (4) ドキュメントルートへのパスを指定し [次へ] をクリックします。
(ドメイン・サブドメインを追加する場合は、任意のディレクトリ名を入力します。デフォルトではドメイン名のディレクトリが wwwroot の下に作成されます。通常はデフォルトのままです。)

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collaby.com Screen ID: 2.72.11.70

ウェブホスティングの追加 リフレッシュ

ウェブスペース設定

ウェブサイト: ウェブスペース (IIS 6.0)

場所: example.com
(サブドメインのドキュメントルートとして指定したディレクトリ(パス)がなかった場合には、自動的にパスが作成されます。)

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (5) ウェブサイトの詳細設定を行ないます。PHP や Perl、ASP のご利用有無と FTP のパスワードを設定してください。(※一度作成した後でも再度設定変更が可能です)
「PHP のサポート」の設定を「ISAPI extension として実行」にします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collaby.com Screen ID: 2.72.11.66

新しいウェブスペースの追加 リフレッシュ

ウェブサイトの設定パラメーターを入力してください。

ウェブサイトのパラメーター

ドメイン名: kddi.collaby.com

IISのバージョン: IIS 6.0

ウェブサイトの設定

SSSIのサポート:

PHPのサポート: ISAPI extension として実行

Active Perlサポート:

ASPのサポート:

ASP.NET サポート: ASP.NET 2.0

FTPの設定

FTPのサポート

ログイン名: <自動的に生成されます>

パスワード: ●●●●●●

パスワードを確認: ●●●●●●

新しいパスワードを生成

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (6) アクセス解析 AWStats を利用する場合は「AWstats をこのドメイン名にインストール」のチェックボックスにチェックを入れ、パスワードを設定します(利用されない場合はチェックを入れなくても構いません)。
[次へ] をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [domain].com Screen ID: 2.11.11.61

ウェブホスティングの追加 リフレッシュ

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール

パスワード:

新しいパスワードを生成

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (7) 確認画面が表示されます。設定した内容を確認し、[完了]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [domain].com Screen ID: 2.11.11.57

ウェブホスティングの追加 リフレッシュ

i **ホスティング作成の概要:**
ウェブサイト (Microsoft IIS) のホスティング再設定の準備が完了しました。入力した設定値に間違いが無いか確認してください。
また、完了ボタンをクリックすると現在のドメインに関する設定が初期化され入力項目が新たに設定されます。一部の変更の場合は、該当ドメインの[ウェブ管理]の[全般]画面で変更を行ってください。

ウェブスペース設定

ウェブサイト: www.[domain].jp
場所: [domain].com

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール: いいえ

<< 戻る 完了 キャンセル

(8) 全般の「同期」、DNSの設定の「DNSホスティングステータス」の2項目が、[いいえ] から [はい]、[更新中] から [準備完了] のステータスにそれぞれ変わると、ご利用いただけます。

(ステータスは自動では変わりません。右上の[リフレッシュ] をクリックするとステータスが更新されます。)

Screen ID: 2.11.11.5

example.com リフレッシュ

概要 DNS管理 ウェブ管理 ウェブサイト管理者 ウェブアプリケーション

全般

ID: [不明]

名前: [不明].com

同期: いいえ

ゾーン管理機能: 有効

編集

DNSの設定

DNSホスティングステータス: 更新中

DNS管理: 有効

詳細の表示

ウェブホスティング

ウェブホスティングタイプ: Microsoft IIS 6.0 (ウェブスペース)

URL: <http://example.com>

場所: /wwwroot/[不明].com

同期: いいえ

詳細の表示

ホスティングの変更(初期化)

ホスティングの削除

※ご注意

同期ステータスが「はい」(緑色) に変わるまで、約 1 分～10 分程度かかります。

(9) デフォルトページの優先順位を確認・設定します。

左メニューより、[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、タブより[デフォルトページ]をクリックします。

契約ID: [非表示]
ウェブスペース: [非表示]

メニュー
ドメイン名
ウェブサイト
ウェブサイトの設定
ファイルマネージャー
データベース
DSMの管理
証明書
バックアップ
eメール
ユーザー
統計と分析

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
ウェブサイトの設定
Screen ID: 2.72.31.59
リテラチュア

概要 パフォーマンス ログ **デフォルトページ** エラーページ MIMEタイプ アプリケーションプール

デフォルトページのリストです。ドキュメントは指定された優先順位に従って検索されます。

編集 削除

優先順位	ドキュメント
<input type="checkbox"/> 0	Default.htm
<input type="checkbox"/> 1	Default.asp
<input type="checkbox"/> 2	Default.aspx
<input type="checkbox"/> 3	index.php
<input type="checkbox"/> 4	index.htm
<input type="checkbox"/> 5	index.html
<input type="checkbox"/> 6	index.php5

合計7アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

合計7アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

(9) 「index.php」ファイルの優先順位を「index.html」よりも高くします。(「優先順位」の値が小さいほど、優先度は高く設定されています) [編集]ボタンをクリックすると、優先順位を設定できます。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
ウェブサイトの設定
Screen ID: 2.72.31.59
リテラチュア

概要 パフォーマンス ログ **デフォルトページ** エラーページ MIMEタイプ アプリケーションプール

デフォルトページのリストです。ドキュメントは指定された優先順位に従って

デフォルトページ:

Default.htm
Default.asp
Default.aspx
index.php
index.htm
index.html

Default.htm
Default.asp
Default.aspx
index.php
index.htm
index.html

(ドキュメントは指定された順序で検索されます。区切り記号として「Enter」、セミコロン、またはカンマを使用してください。)

送信 キャンセル

2. Joomla!のインストール

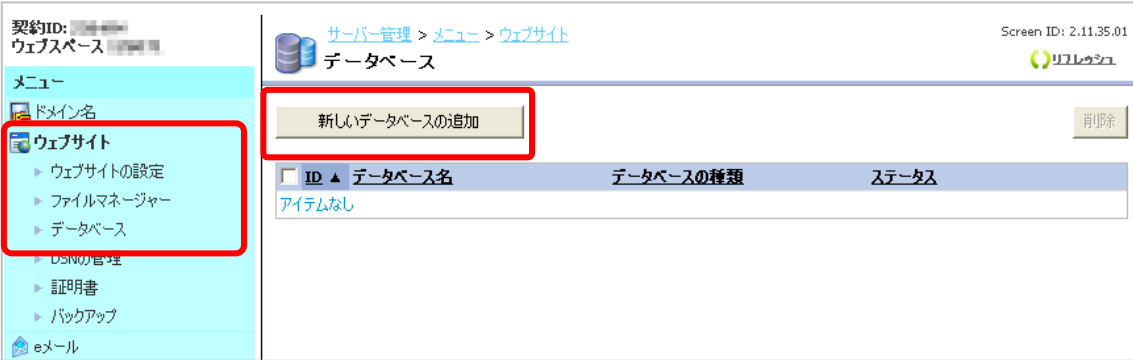
2-1 はじめに

ウェブサーバの初期設定「1-3 サイトの初期設定」が実施されていることを前提に以下手順を記します。

2-2 データベースの作成

Joomla!で利用するデータベースを作成しておきます。



(1) メニューより、[ウェブサイト]>[データベース]を選択し、[新しいデータベースの追加]をクリックします。



The screenshot shows the Joomla! control panel interface. On the left, there is a navigation menu with 'ウェブサイト' (Website) highlighted. The main content area shows the 'データベース' (Database) management page. A button labeled '新しいデータベースの追加' (Add new database) is highlighted with a red box. Below the button, there is a table with columns for 'ID', 'データベース名' (Database name), 'データベースの種類' (Database type), and 'ステータス' (Status). The table currently contains no items, indicated by 'アイテムなし' (No items).

- (2) データベースタイプに「MySQL (MySQL5 databases)」を選択して、[次へ]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース Screen ID: 2.11.35.02

 新しいデータベースの追加 



新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL (MySQL5 databases) ▾

次へ >> キャンセル

- (3) データベースの情報および、ユーザ情報を設定し、[次へ]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース Screen ID: 2.11.35.03

 新しいデータベースの追加 

新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL

データベース名:
(データベース名は64文字以上にすることはできません。最初の9文字はユニークで55文字まで入力可能です。)

新しいデータベースのユーザー情報



データベースのユーザー名:
(データベースのユーザー名は16文字以上にすることはできません。最初の8文字はユニークで8文字まで入力可能です。)

パスワード:
新しいパスワードを生成

次へ >> キャンセル

- (4) 設定情報を確認し、よろしければ[確認]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース Screen ID: 0.00.00.00

 新しいデータベースの追加 

概要:
新しいデータベースの作成準備ができました。下記のデータが正しいことを確認してください

新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL

データベース名: db_####_jm

ディスク容量リソース: Diskspace [MySQL5]

新しいデータベースのユーザー情報

データベースのユーザー名: u_####_jm

パスワード: *****

完了 キャンセル

- (5) ステータスが「作成中」から「準備完了」になればデータベースの作成が完了です。
(画面の更新は自動では行なわれません。[リフレッシュ]ボタンで更新されます。更新には数分かかります)

ID	データベース名 ▲	データベースの種類	ステータス
17229	db_..._jm	MySQL	● 準備完了

2-3 Joomla!のインストール

※本マニュアルは、http://www.お客さまドメイン名/jm/ の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

- (1) インストール先ディレクトリを作成します。
コントロールパネルのメニューより、[ウェブサイト]>[ファイルマネージャを開く]をクリックして、ファイルマネージャを表示させます。(ファイルマネージャの初期設定が完了していない場合は、設定します。)

このスクリーンショットは、コントロールパネルの「ファイルマネージャ」画面を示しています。左側のメニューには「ウェブサイト」の下に「ファイルマネージャを開く」があります。右側のメインエリアには「ファイルとフォルダの管理: ファイルマネージャを開く」のリンクと「ステータス: ● 準備完了」が表示されています。

- (2) 「wwwroot」をクリックし、Joomla!をインストールするドメインのディレクトリを選択(無い場合は「ディレクトリを作成」)します。

このスクリーンショットは、ファイルマネージャのディレクトリ一覧画面を示しています。現在のパスは「/wwwroot」です。操作ボタンとして「ディレクトリを作成」、「ファイルを作成」、「ファイルアップロード」があります。ディレクトリ一覧には「..」、「example.com」、「ext」、「1x1.gif」、「banner.gif」、「index.html」がリストアップされています。


「ディレクトリを作成」する場合、下記のように名称を入力できます。本マニュアルでは、「example.com」をサンプルに説明いたします。

ディレクトリの作成

ディレクトリ名を入力

名前の文字数は 151 文字を超えられません

(3) インストール先ディレクトリのアクセス権の変更を行います。

上記で作成した [example.com] のディレクトリに対し [Anonymous Web ユーザー] の書き込み権限を付与します。作成したディレクトリ右側の錠マーク をクリックします

現在のパス: / wwwroot

ディレクトリを作成 ファイルを作成 ファイルアップロード コピー 移動 タイムスタンプ 削除

全17の内1-17; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
..			
example.com		2010/10/26 20:02:16	
ext		2010/10/25 20:37:36	

(4) [Anonymous Web ユーザー]の書き込み権限にて、[許可]にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

アクセス権の設定: / wwwroot / example.com

Display name	Login	User type	読み取り		書き込み		実行	
			許可	拒否	許可	拒否	許可	拒否
<blank>	column.login.blank	アプリケーションプールアイデンティティアカウント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	column.login.blank	Anonymous Webユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	WIN-SV#w00126071	認証されたFTPユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

更新 キャンセル 適用 **OK**

(5) インストール用ファイルの編集を行いません。

コントロールパネルにて、[ウェブサイト] [ファイルマネージャー] より、[ファイルマネージャーを開く]をクリックし、wwwroot > ext の順番でフォルダを選択いたしますと、[**extract.php]という形式のファイルをご確認いただけます。Joomla!をインストールするには、[JM-extract.php]のファイルをご選択ください。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト Screen ID: 2.21.0




ファイルマネージャー リフレッシュ

フィルタ: リセット *.* 移動先: /wwwroot/ext

現在のパス: / wwwroot / ext

ディレクトリを作成 ファイルを作成 ファイルアップロード コピー 移動 タイムスタンプ 削除

全7の内1-7; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
..			
EC-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
JM-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
MTS-extract.php	2 KB	2010/10/27 13:28:06	
PW-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
WP-extract.php	2 KB	2010/11/22 16:09:26	
XP-extract.php	2 KB	2010/11/25 11:49:18	

全7の内1-7; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

ファイルマネージャに[JM-extract.php]のファイルが無い場合は、[こちら](#)
(<http://media3.kddi.com/extlib/files/pub/hosting-g/application/zip/JM-extract.zip>)よりダウンロードできます。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、テキストエディタで開きます。
(テキストエディタが無い場合は、メモ帳へドラッグ&ドロップすると開くことができます)
5行名の解凍先ディレクトリをお客さま環境に合わせて修正します(赤文字・太字部分)。
お客さま環境の確認方法は、(6)にて確認できます。

```
/////CONFIG/////  
define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/joomla/joomla.zip');  
define('PATH_TO_EXTRACT',  
'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');  
/////CONFIG/////
```

- (6) 解凍先ディレクトリ(サーバパス)は以下の流れで確認します。
[ウェブサイト]より、[ウェブサイトの設定]にて [PHP のサポート:]を選択し、[PHP のサポート:]をクリックし、
_SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"]をご確認いただけます。

The screenshot shows the 'ウェブサイトの設定' (Website Settings) page. The left sidebar contains a menu with 'ウェブサイト' expanded. The main content area shows '基本設定' (Basic Settings) with the following options:

- 名前: d...@... .jp
- 状態: 開始
- SSIのサポート: オン [テスト](#)
- PHPのサポート: オン [テスト](#) (ISAPI extension として実行中)
- Active Perlサポート: オン [テスト](#)
- ASPのサポート: オン [テスト](#)
- ASP.NET サポート: オン [テスト](#) (ASP.NET 2.0 が有効になりました)

At the bottom, the _SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"] is displayed as: D:\CustomerData\webspaces\webpace_00101241\wwwroot\

このパス情報を(8)にて設定いたします。(パス情報はお客さまによって上記とは異なります)

(7) 解凍先ディレクトリの編集を行います。

以下のキャプチャは、example.com というドメイン名の場合に、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com¥jm**

にインストールする場合は、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com**と

入れます

```

1 <?php
2
3 //CONFIG
4 define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/joomla/joomla.zip');
5 define('PATH_TO_EXTRACT', 'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');
6 //CONFIG
7
8 $pattern = '|.+/(.+)$|';
9 preg_match($pattern, ARCHIVE_URL, $matches);
10 define('FILE_NAME', $matches[1]);

```



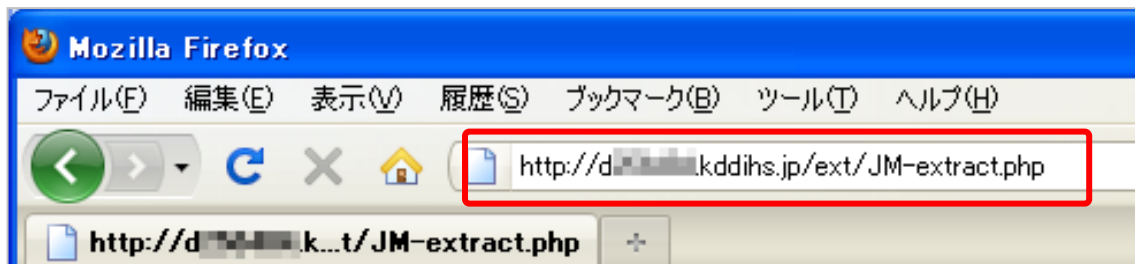
記述例)
D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_00101241¥wwwroot¥example.com

編集したファイルを上書き保存します。(ファイル名: JM-extract.php)

(8) 編集したファイルを「ファイルマネージャ」でアップロードします。

アップロードするファイル	JM-extract.php
アップロード先のディレクトリ	¥wwwroot¥ext

- (9) アップロード完了後、[JM-extract.php]を実行します。メニューより[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、[名前]のリンクをクリックします。新しいブラウザが表示された後、
http://d*****.kddihs.jp/ext/JM-extract.php
 とアドレスを修正して、アクセスします。



インストールの準備のためのスクリプトが実行されます。

「Start」から「Done」まで大量の結果が出力されます。(数千行)

```
Start
get http://*****.jp/joomla/joomla.zip
file -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_*****\wwwroot\*****.com\joomla.zip
extract dir -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_*****\wwwroot\*****.com
D:\CustomerData\webspaces\workspace_*****\wwwroot\*****.com\Joomla_1_5_15_in_Japanese/administrator/
D:\CustomerData\webspaces\workspace_*****\wwwroot\*****.com\Joomla_1_5_15_in_Japanese/administrator/backups/
...
D:\CustomerData\webspaces\workspace_*****\wwwroot\*****.com\Joomla_1_5_15_in_Japanese/xmlrpc/includes/index.html
D:\CustomerData\webspaces\workspace_*****\wwwroot\*****.com\Joomla_1_5_15_in_Japanese/xmlrpc/index.php
Done...
```

※ご参考

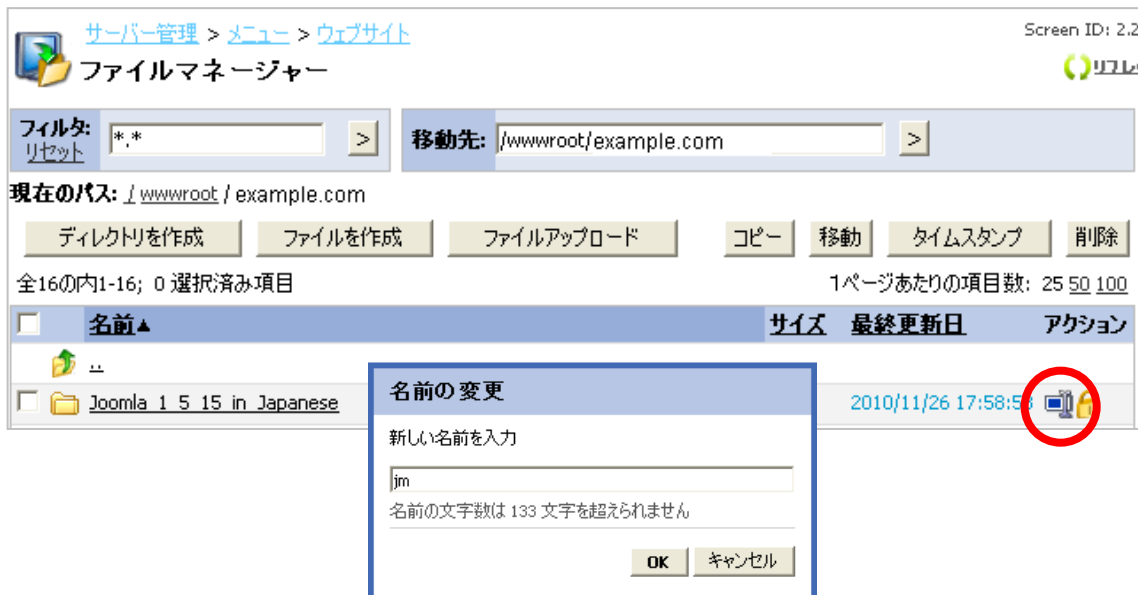
「Start」から「Done」まで 4 行程度 (数行) しか出力されていない場合は、正しく動作していません。

インストールしようとしているディレクトリ(ここでは example.com)に「Anonymous Web ユーザー」の書き込みアクセス権限が付与されているかどうか? など(2-4 (4))をご確認ください。

アクセス権の設定: / wwwroot / *****.com

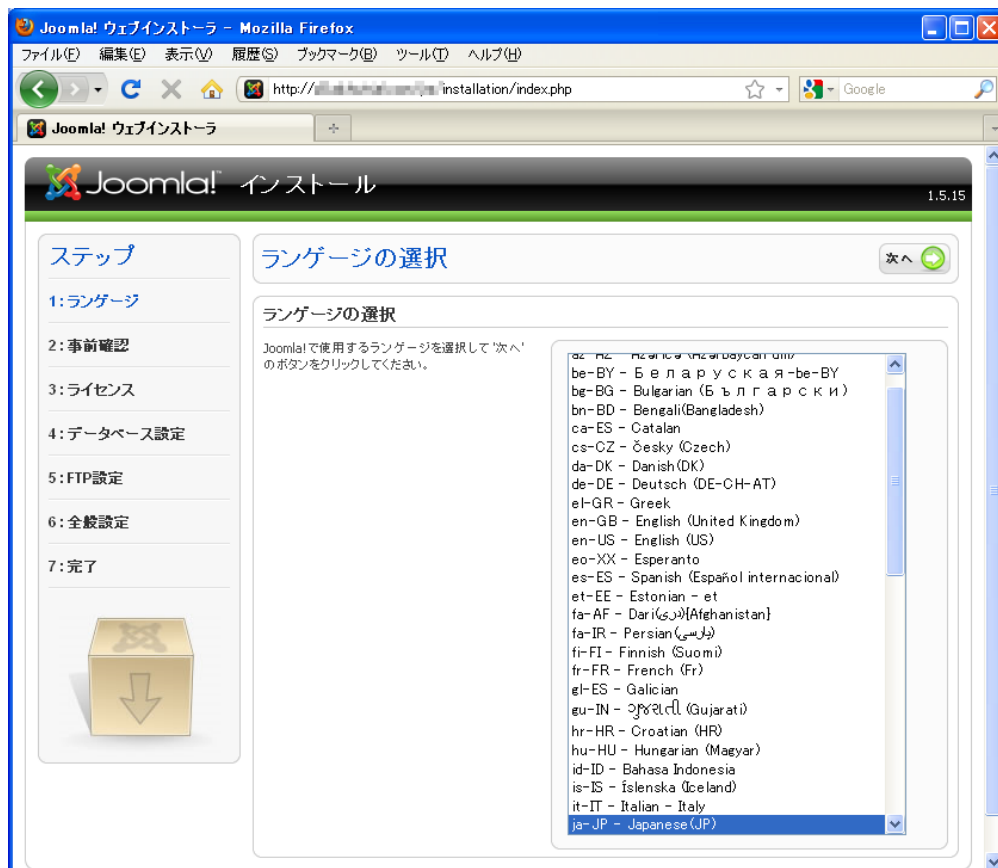
Display name	Login	User type	読み取り		書き込み		実行	
			許可	拒否	許可	拒否	許可	拒否
<blank>	column.login.blank	アプリケーション プール アノニマティティ アカウント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	column.login.blank	Anonymous Web ユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	WIN-SV#w00126071	認識されたFTPユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(11) 展開されたディレクトリの名前を変更します。メニューの[ウェブサイト]>[ファイルマネージャー]を選択し、wwwroot > example.com の順番でフォルダを選択いたしますと、[Joomla!]というディレクトリが表示されます。[Joomla!]右側の[ディレクトリ名の変更]ボタンを選択してディレクトリ名を変更します。本マニュアルでは、httpjmw.example.com/jm/としてインストールするため、jmと入力します。



(12) Joomla!へアクセスいたします。

ブラウザで「[httpjmw.example.com\(お客様のドメイン名\)/jm/](http://httpjmw.example.com/jm/)」へアクセス(今回は、(11)にて/jm と設定したため)します。正常に表示されたら完了です。



(13) 言語の選択を行ない、「次へ」をクリックします。

ランゲージの選択
次へ

ランゲージの選択

Joomla!で使用するランゲージを選択して「次へ」のボタンをクリックしてください。

- az-NZ - Azərbaycanca (Azərbaycan dili)
- be-BY - Беларуская (Беларуская)-be-BY
- be-BG - Bulgarian (Български)
- bn-BD - Bengali (Bangladesh)
- ca-ES - Catalan
- cs-CZ - Český (Czech)
- da-DK - Danish (DK)
- de-DE - Deutsch (DE-CH-AT)
- el-GR - Greek
- en-GB - English (United Kingdom)
- en-US - English (US)
- eo-XX - Esperanto
- es-ES - Spanish (Español internacional)
- et-EE - Estonian - et
- fa-AF - Dari (دري){Afghanistan}
- fa-IR - Persian (فارسی)
- fi-FI - Finnish (Suomi)
- fr-FR - French (Fr)
- gl-ES - Galician
- gu-IN - ગુજરાતી (Gujarati)
- hr-HR - Croatian (HR)
- hu-HU - Hungarian (Magyar)
- id-ID - Bahasa Indonesia
- is-IS - Íslenska (Iceland)
- it-IT - Italian - Italy
- ja-JP - Japanese (JP)

(14) 事前確認を行よろしければ、「次へ」をクリックします。

事前確認
再確認 戻る 次へ

インストール前の確認事項 Joomla! 1.5.15 Stable [Wojmamni Ama Mamni] 05-November-2009 04:00 GMT:

これらの項目のうち一つでも赤く**いいえ**と強調されている場合システムの作動条件に適合していません。エラーを修正してください。未修正のままインストールを継続するとあなたのJoomla!は正常に作動しません。

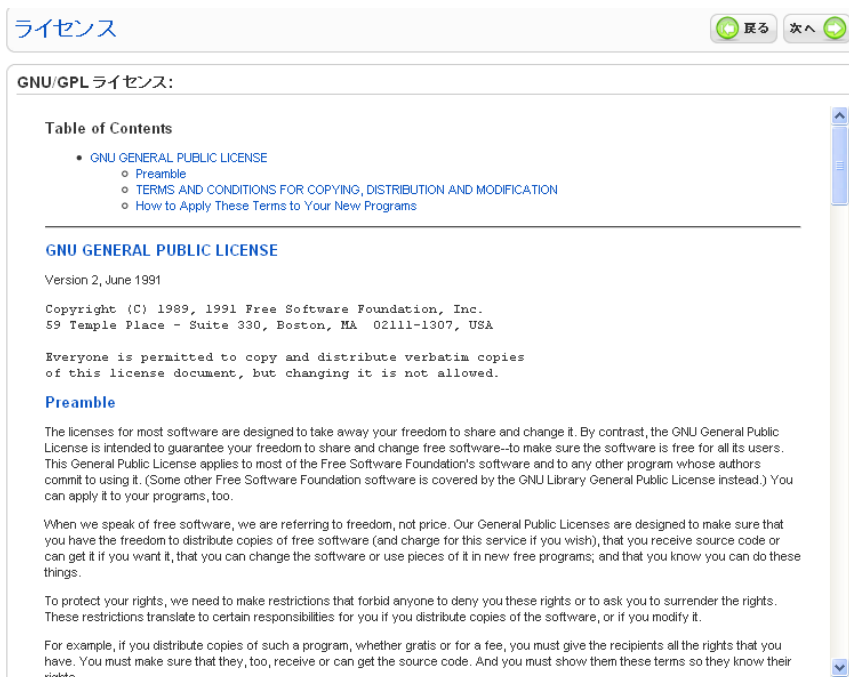
PHPバージョン >= 4.3.10	はい
- zlib compression サポート	はい
- XMLサポート	はい
- MySQLサポート	はい
MB languageのデフォルト	はい
MB string オーバーロード オフ	はい
configuration.php 書き込み可	はい

推奨設定:

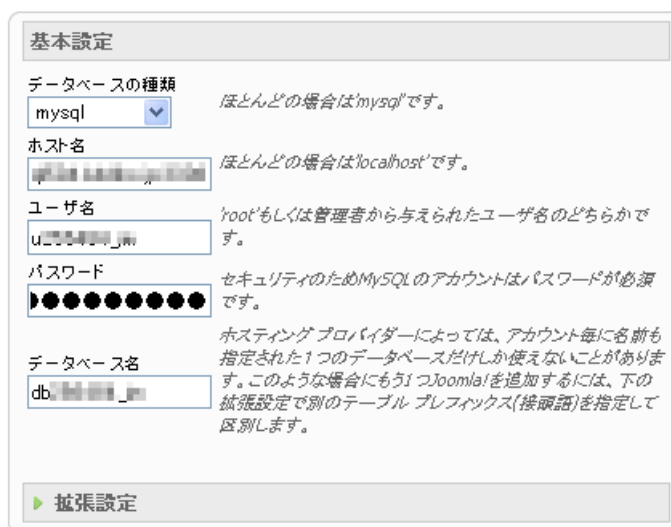
'現設定' が全て '推奨' と同じならば、PHPにおけるJoomla!との互換性は完全に保障されます。設定が合っていないとしてもJoomla!は動作するでしょう。

ディレクティブ	推奨	現設定
セーフモード:	オフ	オフ
エラー表示:	オフ	オフ
ファイル アップロード:	オン	オン
マジックオート ランタイム:	オフ	オフ
Register Globals:	オフ	オフ
Output Buffering:	オフ	オフ
Session auto start:	オフ	オフ

(15) ライセンスを確認し、「次へ」をクリックします。



(16) データベース情報を入力し、「次へ」をクリックします。データベースの情報は「2-2 データベースの作成」で作成したものとなります。



Joomla!設定項目	コントロールパネル
データベースの種類	「Mysql」を選択します。
ホスト名	「内部ネットワーク用ホスト名」を利用します。ホスト名の後に「: (コロン)」「ポート番号を続けて入力します。 例) mysql00.hostname:0000
ユーザ名	ユーザ名を利用します
パスワード	データベースユーザに対するパスワードを利用します。
データベース名	データベース名を入力します。

- (17) 本サービスでは「FTP 設定」は利用できません。「次へ」をクリックしてください。

基本設定

はい FTPファイルシステムの使用
 いいえ

FTPユーザ

FTPパスワード

FTP初期フォルダ

▶ 拡張設定

- (18) 「全般設定」にて「サイト名」を入力します。

サイト名

- (19) 「サイトへのURL、パス、管理者のEメール、ファイル/ディレクトリのアクセス権設定の確認」を入力します。

あなたのEメール

管理者パスワード

管理者パスワードの確認

- (20) 「サンプルデータロード、リストアとコンテンツバックアップ」は、Joomla!インストールパッケージに含まれているデフォルトのサンプルコンテンツをインストールするか、否かを選択します

サンプルデータのインストール 初心者の方はインストールする事を推奨します。これはJoomla!インストールパッケージに含まれているデフォルトのサンプルコンテンツをインストールします。

アップデートスクリプトを読み込み アップデートスクリプトは古いサイトで'com_migrator'ツールか手動で作成する必要があります。古いサイトのテーブルプレフィックスを入力して文字コード(ランゲージファイルの_ISOかブラウザからソースやエンコードを確認)を入力してください。
SQLスクリプトはJoomla!1.5と互換性がある適切なテーブルプレフィックスが必要です。

最大アップロードサイズ あなたのサーバの最大ファイルアップロードサイズは 2.00MB. です。

以前のテーブルプレフィックス

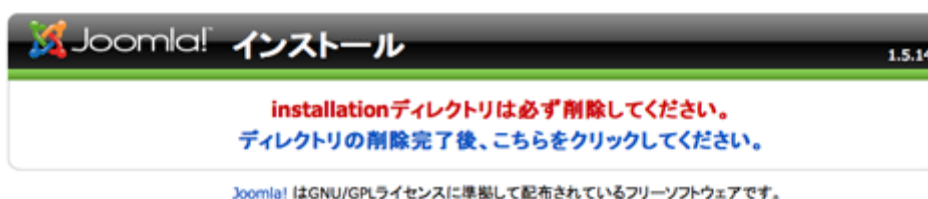
以前のサイトエンコード

アップデートスクリプト ファイルが選択されていません
 既にマイグレーションスクリプトをサーバにアップロードしています。
(例: FTP/SCPなどで)
 このスクリプトは Joomla! 1.0 からのマイグレーションスクリプトです。

(21) Joomla!のインストールが完了しました。



(22) installation ディレクトリをコントロールパネルのファイルマネージャから削除します。



(23) 「installation ディレクトリ」削除完了後、Joomla!の管理画面にログインします。以下のような画面が表示されます。



※ご注意
Joomla!の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネット等をご活用ください。